

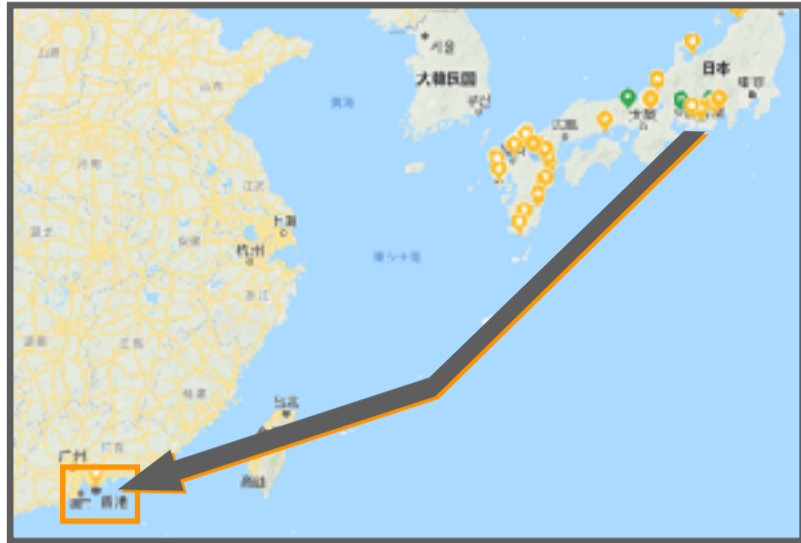


SSSV program The University of Hong Kong and Shizuoka University



Date: 2018, 3/1~3/8

1. メンバーと旅程



Member List

- M2: 柴田高司
- M1: 堀越覚也
- M1: 山田優希
- M1: 池田祥之
- B4: 西原小次郎
- B4: 神戸優
- B3: 川久保太稀

2. Hong Kong



[中華人民共和國香港特別行政区]
面積: 1,104 km²
人口: 707万1576人 (2011)



3. The University of Hong Kong



[香港大學(The University of Hong Kong)]
在校生: 2万1652人 (2008)
10の学部: 医学院, 歯科学院, 工程学院, 文学院, 教育学院, 法律院, 工商管理学院, 人文学院, 理学院, 社会科学院



4. 研究交流

EAGLs -East Asian Graduate Student Symposium on Learning Sciences-



- 柴田高司:
[How Do Regulation Skills Improve over PBL?]
- 堀越覚也:
[FACTORS OF PRODUCTIVITY IN COLLABORATIVE LEARNING]
- 山田優希:
[Learners' Co-Regulated Strategies]
- 池田祥之:
[Idea Evaluation and Promisingness in Knowledge Building]
- 西原小次郎:
[Self-explanation Prompts in Inquiry Learning]
- 神戸優:
[Usability of the Online Questionnaire of Collaborative Learning Regulation]



5. 文化体験



6. まとめ

- 香港は日本人にとっては親しみやすい都市であった。英語圏であるので比較的コミュニケーションが取りやすく、目立ったトラブルもなく滞在することができた。
- 香港大学や南京大学の学生と共に学習シンポジウムで発表し、日本とは異なる文化や考え方に触れることができた。またそれぞれの地域の漢字や言葉の話題で楽しく交流することができた。
- 同じ研究分野の著名な教授方からコメントやアドバイスを頂き、自らの研究にフィードバックさせることができた。
- 海外派遣を通して、研究意欲だけでなく英語学習への意欲も高まった。